

2023 年 1 月_中古車市場の動向

1. オークション市場の動向

(1)出品台数

- ・1月のオークション出品台数は昨年同月の1割以上の増加となり、4ヵ月連続でプラスとなった。
- ・2022年10月以降は4ヶ月連続で前年比プラスとなっているが、昨年12月の成約率が特に低迷したこともあり、年末からの残留車が多く、年明けからの新規出品車両搬入と合わせ各会場で出品集荷の増加となった。再出品車両が増加していることが出品台数増加の大きな要因となっている。

(2)落札台数

- ・1月のAA落札は、前年同月に僅かに及ばず、12月に続き2ヵ月連続でのマイナスとなった。
- ・先月に続き小売りの動きが鈍く、相場が高いイメージもあり全体的に鈍い状況であった。

(3)AA ワンプラ落札台数

- ・1月のAA ワンプラ落札は、前年同月の1.2割以上の増加となり、11月から3ヶ月連続でのプラスとなった。
- ・オークション会場の成約率の低下による出品台数の増加が大きな要因となった。

2. 共有在庫市場の動向

(1)AS ワンプラ（共有在庫） 出品台数

- ・1月末現在の出品台数は、12月末に比べ1万台程度のマイナスとなり、5ヶ月振りに減少となった。
- ・年末年始に出品台数が増加し、1月中旬から減少傾向。1月末には台数が安定し小売りの低迷もあって大幅な台数の増減は見られない。2月に入り小売りが動いてきたとはいえ、大きな動きには至っていない。

(2)AS ワンプラ（共有在庫） 落札台数

- ・1月のAS ワンプラ落札は、小売市場の低迷が影響し、4ヵ月連続での前年割れとなった。
- ・AA 会場ではまだまだ活性化には至らず、AS ワンプラも同様に流通増とはなっていない。やはり小売市場の回復が鍵となる。2月に入り小売りが少々動いてきている感はあるが、まだまだ小売市場の動向から目が離せない。